

差出人: csih@googlegroups.com は 橋本英樹 <hidekih@wine.plala.or.jp> の代理
送信日時: 2020年11月26日木曜日 22:40
宛先: csih@googlegroups.com
件名: [CSIH:218] 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2020年11月26日発行
添付ファイル: 鍛冶復元工房「かじや村」オープン(案内チラシ).pdf; 2020.12.19大府市図書館ふるさと講座
チラシ「明神樋門、服部長七」.pdf

中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2020年11月26日発行

【お知らせ】

中部産業遺産研究会 2020年度パネル展が11月29日（日）までの間、名古屋都市センター11階
まちづくり広場において開催中です。

<https://www.nup.or.jp/nui/access>

【12月13日開催の見学会について】

2020年12月13日日曜日に第166回定例研究会・見学会を開催致します。

見学先は「ヤマザキマザック工作機械博物館」で、13:10頃現地集合です。雨天決行です。

現地集合・現地解散です。

詳細は、以下の【1】中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定をご参照下さい。

【中部産業遺産研究会の入会案内はこちら】

<http://csih.sakura.ne.jp/nyuukaiannai.html>

【中部産業遺産研究会のホームページはこちらから】

<http://csih.sakura.ne.jp/index.html>

【中部産業遺産研究会の書籍のご案内】

<http://csih.sakura.ne.jp/syoseki.html>

【CONTENTS】

【1】中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

【2】西尾の「かじや村」がオープン／天野武弘【New】

【3】国の登録有形文化財に答申された大府の明神樋門についての講演／天野武弘【New】

【4】東海テレビにて博物館明治村の12号蒸気機関車が扱われます【再送】

【1】中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

●2020年度パネル展 11月3日（火）から11月29日（日）名古屋都市センター11階 まちづくり広場

詳細は中部産遺研会報第80号の12ページ～13ページをご参照下さい。

http://csih.sakura.ne.jp/kaihou/K80_20201030_20201031.pdf

●第166回定例研究会・見学会 2020年12月13日日曜日（雨天決行）

ヤマザキマザック工作機械博物館 13:10頃現地集合

（入館料：500円・参加人数が20名以上で団体割引が適用される場合は400円・参加各自負担）

【見学先詳細はこちらから】

<https://machine-tools-museum.mazak.com/>

【交通アクセス】

<https://machine-tools-museum.mazak.com/#access>

鉄道での移動：JR高山本線「美濃太田」駅 経由 長良川鉄道「前平公園」駅下車 徒歩約10分

例えば、名古屋 11:45（新快速大垣行）－12:06 岐阜

岐阜 12:15（太多線経由多治見行）－12:48 美濃太田

美濃太田 12:54（長良川鉄道美濃白鳥行）－12:56 前平公園・・・徒歩10分

（名古屋からこのルートで片道1,200円）

自動車での移動：東海環状自動車道「美濃加茂IC」より約10分。

カーナビ等で検索すると「ヤマザキマザックオプトニクス株式会社」と

表示される場合がありますのでご注意ください。

注意：館内での写真や動画の撮影は、個人使用目的に限ります（一部、撮影禁止の場所があります）。

またストロボ、三脚、自撮り棒の使用は禁止しています。

●第167回定例研究会 2021年1月17日（日）13:00～17:00

会場：とよた市民活動センター 研修室（松坂屋・A館 T-FACE 9階）

交通：名鉄三河線 豊田市駅下車 西口を出てすぐ、または愛知環状鉄道 新豊田駅下車 徒歩3分

電話：0565-36-1730

地図：<https://www.matsuzakaya.co.jp/toyota/access.html>

内容：調査報告、保存問題、会員の近況、その他

（マスク着用などコロナ対策をお願いします）

●第168回定例研究会 2021年3月（日程・会場未定）

【2】西尾の「かじや村」がオープン／天野武弘【New】

以前お話しした西尾の「かじや村」がようやくオープンの運びとなりました。
幸田町最後の鍛冶屋が店を閉めたとき、その機械設備を譲り受け、復元工房を計画してきましたが、7年越しとなる完成です。

豊田織機の協力工場である西尾市の三周全工業の現会長がその機械設備のための鍛冶工房を新築してくれました。

工房の機械設置やベルト駆動装置などは主に私が計画設計し、機械設置は三周全工業の社員が中心にやってくれました。時々私も出向きました。

鍛冶炉の煉瓦は岡崎の左官屋が積みました。

打ち初め式は足助の若手の鍛冶屋、広瀬氏が行ってくれます。

案内チラシを添付します。

【3】国の登録有形文化財に答申された大府の明神樋門についての講演／天野武弘【New】

国の登録有形文化財に答申された大府の明神樋門と明神川逆水肥門についての講演を行います。

日時 : 12月19日(土) 14:00～16:00

会場 : おおぶ文化交流の杜図書館

参加には申し込みが必要です。詳細は添付のチラシをご参照下さい。

【4】東海テレビにて博物館明治村の12号蒸気機関車が扱われます【再送】

東海テレビ放送の午前の情報番組「スイッチ！」(あさ9:50～11:15)の12月4日と12月11日の予定で、番組内の「昭和すいっち」のコーナーにおいて博物館明治村に動態保存されている12号蒸気機関車について扱われます。

(「前編」・「後編」の2回に分けて放送されます。)

この放送において、中部産業遺産研究会のシンポジウム「日本の技術史をみる眼」第33回講演報告資料集(2015年2月22日)において誌上報告された橋本英樹・白井昭「博物館明治村での12号蒸気機関車の動態保存」に収録の内容と写真が引用されます。

http://www15.plala.or.jp/hidekih/sl_12.pdf

引用に当たっては、出典元が明示される見込みです。

本会の元会員である白井昭氏（元名古屋鉄道・元大井川鐵道）が撮影した写真が使われる予定です。

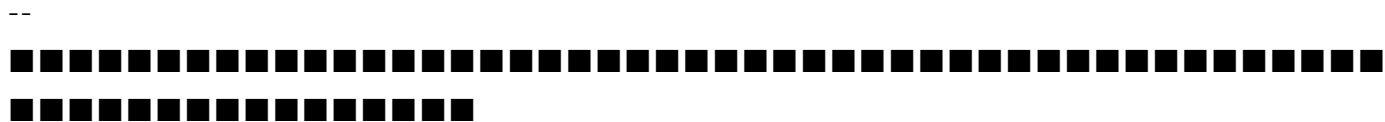
放送局：東海テレビ放送

番組名：「スイッチ！」月曜～金曜 あさ 9 時 50 分～11 時 15 分

コーナー名：「昭和すいっち」（スイッチ！内コーナー）

コーナー詳細：昭和時代に撮られた 1 枚の写真をテーマに、撮られた場所や人が、今どうなっているかを探ります。

放送予定日：2020 年 12 月 4 日（金）・11 日（金）（前編/後編に分けて放送予定）



中部産業遺産研究会のニューズレターは電子メールアドレスをお持ちの会員の皆様に Google グループのメーリングリストのシステムを使って配信しています。

配信元：中部産業遺産研究会 会報編集委員・広報幹事 橋本 英樹

Home Page URL : <http://csih.sakura.ne.jp/> E-mail : hidekih@wine.plala.or.jp Copyright 2002-2018

The Chubu Society For The Industrial Heritage, Allrights reserved.



このメールは Google グループのグループ「中部産業遺産研究会」の登録者に送られています。

このグループから退会し、グループからのメールの配信を停止するには csih+unsubscribe@googlegroups.com にメールを送信してください。

このディスカッションをウェブ上で閲覧するには、
<https://groups.google.com/d/msgid/csih/021401d6c3f9%24b2c05330%241840f990%24%40wine.plala.or.jp> にアクセスしてください。

服部長七翁

第24回ふるさと講座

12/19(土)

14時～16時 定員:45名

会場:allobu(おおぶ文化交流の杜)

2階会議室

申込:12/5(土)より開始

電話または直接図書館カウンターへ

国登録有形文化財 ひもん

大府の樋門を生んだ

服部長七の 人造石工法

【講師】天野 武弘 氏

(産業遺産学会 会長)

【内容】国登録有形文化財となった、大府市の「明神樋門および明神川逆水樋門」。樋門の役割や使われた技術の産業遺産上の価値について解説します！

【主催・連絡先】おおぶ文化交流の杜図書館
〒474-0053 愛知県大府市柘山町6丁目150-1

TEL 0562-48-1808

※ナビ検索をされる方は住所を入力してください。



明神樋門 (大府市横根町)

西尾市お茶処（上町）

鍛冶屋の復元工房「かじや村」オープン！

「♪しばしも休まず槌打つ響き」と歌われたように、昔ほどの村にも1軒や2軒の鍛冶屋があり、農閑期には鍬や備中などの修理で「♪仕事に精出す村の鍛冶屋」が小気味良い音を出していました。小学唱歌「村の鍛冶屋」はその情景を見事に表した歌だったと思います。

時は移り、平成の時代に入ると、次々に鍛冶屋は姿を消し、最近では県内でも数えるほどに激減しています。そうした2013年の秋、額田郡幸田町で最後の鍛冶屋が店を閉めました。そこに手を差し伸べたのが、三周全工業の稲垣社長（現会長）でした。スクラップにされるのは惜しい、何とか日本の鍛冶技術、鍛冶設備を後世に残したい、こうした思いが鍛冶工房「鍛冶屋村」の再現となりました。

新たな鍛冶工房は、一時代前のベルト駆動のハンマーを据え付け、鍛冶設備の一切を復元して、収集から7年越しのオープンを迎えることとなりました。

オープン当日は、足助町の鍛冶職・廣瀬友門氏を迎え、打ち初め式を行い、地域に生きる鍛冶屋となる一步を踏み出したいと思います。是非ご来場を！

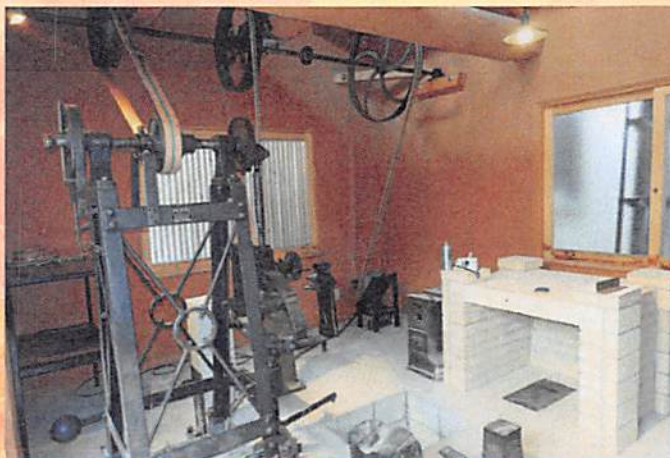
日 時：2020年12月5日（土）

午前11時～11時30分（受付10時30分～）

場 所：西尾市上町上屋敷（金石神社南西）

鍛冶工房「かじや村」

打ち初め式：廣瀬友門氏（足助のかじやさん）



完成した鍛冶工房「かじや村」



お願い！：コロナウィルス感染防止のため、マスク着用でお越しください。